

がん検診のススメ

がんは誰もがかかる可能性がある病気で、日本人の3人に1人はがんで死亡するといわれています。しかし、最近では、早期発見・早期治療により、がんの死亡率を減少させることができるようになってきました。がんから身を守るためには定期的に検診を受けることが重要です。

あなたはがん検診を受けていますか？

砂川市の各種がん検診の受診率は目標値には程遠い状況です。(表1) 砂川市では、がんは死亡原因のおおむね3割を占めており、特に近年は50歳代からの死亡が増えている傾向にあります。がんは、喫煙(受動喫煙を含む)、食生活、運動等の生活習慣、ウイルスや細菌への感染など、さまざまな原因により発生します。(表2)

■表1 砂川市のがん検診の受診率と目標値

種類	対象者	受診率					目標値
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
胃がん	40歳以上	15.6%	14.8%	14.5%	13.2%	13.5%	40%
肺がん		18.3%	17.6%	16.9%	15.5%	15.5%	40%
大腸がん		14.9%	19.3%	18.2%	17.2%	17.0%	40%
乳がん		23.9%	28.4%	27.6%	27.2%	25.7%	50%
子宮がん	20歳以上	17.6%	20.9%	18.6%	19.1%	18.9%	50%

地域保健・健康増進事業報告より

■表2 がんの発症要因

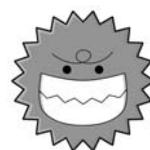
◎確実 ○ほぼ確実 △可能性あり

要因	全がん	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
喫煙	◎	◎	◎	△	△	◎
受動喫煙		○				
飲酒	◎			◎		
肥満	△			○	○(閉経前、BMI30以上) ◎(閉経後)	
運動不足				△	○	
感染症		○(肺結核)	◎(ピロリ菌)			◎(HPV16、18)

国立がん研究センター予防研究グループ「日本人のためのがん予防法」より

がん細胞の脅威

人の体には遺伝子の変異を防いだり、修復したりする機能がもともと備わっていますが、万全ではないため、発生したがんに負けてしまうこともあります。がんは遺伝子のある部分に突然変異が起これ、それが積み重なっていくと細胞は死ぬことができずに、細胞分裂を繰り返します。無限に分裂を繰り返し、増殖していく、それが“がん”です。たった1つのがん細胞でも、倍々に増えていき、30回くらい細胞分裂を繰り返した1cm大のがん細胞が検査で発見できる最小の大きさと言われており、1cm大のがん細胞になるには10～15年の時間がかかると言われています。がん細胞は正常な細胞に穴を開け、その隙間にもぐりこみます。(浸潤) また、本来細胞同士はくっついている状態ですが、がん細胞になると剥がれて移動しやすい細胞になります。(転移) 腫瘍の大きさや転移の有無などががんの進行度といわれ、がんが治るか治らないかの境界線であり、早期とは5年生存率が8～9割のことをいいます。



早期発見・早期治療が可能です

近年では、診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見・早期治療が可能となってきました。がん検診はこうした医療技術に基づき、がんの死亡率を減少させることができる確実な方法であり、早期発見によりがんで死亡する可能性を減少させることを目的としています。がんから身を守るためには定期的ながん検診を受けましょう。

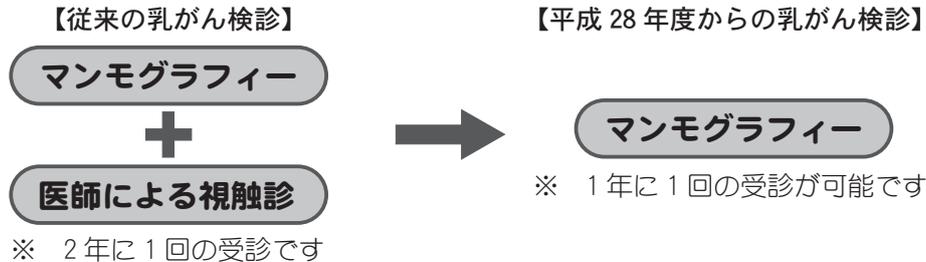
また、これまでに要精密検査となった方の中には、「以前に精密検査となって検査したが異常がなかったため、今回も異常ないと思う」などといった理由から未受診の方も見受けられます。しかし、がんは日々増殖していくものですので、大事なサインと捉えて必ず精密検査を受けましょう。

平成 28 年度から がん検診が変わります！

①乳がん検診・子宮がん検診が1年に1回受診できるようになりました！

これまで、乳がん検診についてはマンモグラフィーと医師による視触診を行っていましたが、国では視触診については死亡率減少効果が十分ではなく、精度管理の問題もあることから、マンモグラフィー単独の検査を原則としました。市でも、今年度から国に準じて視触診は行わないこととし、より早期発見ができるように、受診間隔をこれまでの2年に1回から1年に1回に変更しました。これに合わせて、子宮がん検診の受診間隔も1年に1回に変更しました。

30歳以上（子宮がん検診は20歳以上）の市民であれば、1年に1回、市で行う検診を受診できます。



②市立病院で乳がん検診・子宮がん検診・大腸がん検診が受診できるようになりました！

乳がん検診・子宮がん検診が毎年受診できるようになり、今後受診数の増加が予測されることから、昨年度まで集団検診のみの受診でしたが、市立病院での個別検診も可能となりました。受診を希望される方は希望する受診日の1か月前までに、必ずふれあいセンターに申し込みください。料金は集団検診の料金と同一です。ただし、申込をせずに受診した場合は、全額自己負担となりますのでご注意ください。集団検診の日程は市ホームページまたは広報すながわ4月1日号に折り込みの「平成28年度各種健(検)診等の日程表」をご覧ください。

■料金 乳がん検診 30歳～49歳 2,600円 子宮がん検診 20歳以上 2,000円
50歳以上 2,200円

※ 国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者は上記金額の半額となります。経過観察で病院を受診している方は、医師の指示に従いましょう

砂川市独自！！

乳がん検診・子宮がん検診の無料クーポン券を送付しました

市では今年度より対象者を5歳刻みで設定し、対象者全員に無料クーポン券を送付する独自の施策を行うこととしました。対象者には、個別に無料クーポン券および受診可能な医療機関や受診方法等の案内を送付していますので、自分の体に関心を持ち、健康を自己管理するためにも、この機会にぜひがん検診を受けましょう。

今年度、乳がん検診・子宮がん検診無料クーポンが送付されるのは、下記の年齢の方です。

■乳がん検診

年齢	生年月日
41歳	昭和50(1975)年4月2日～昭和51年(1976)年4月1日
46歳	昭和45(1970)年4月2日～昭和46年(1971)年4月1日
51歳	昭和40(1965)年4月2日～昭和41年(1966)年4月1日
56歳	昭和35(1960)年4月2日～昭和36年(1961)年4月1日
61歳	昭和30(1955)年4月2日～昭和31年(1956)年4月1日

■子宮がん検診

年齢	生年月日
21歳	平成7(1995)年4月2日～平成8年(1996)年4月1日
26歳	平成2(1990)年4月2日～平成3年(1991)年4月1日
31歳	昭和60(1985)年4月2日～昭和61年(1986)年4月1日
36歳	昭和55(1980)年4月2日～昭和56年(1981)年4月1日
41歳	昭和50(1975)年4月2日～昭和51年(1976)年4月1日

利用できる期間は、**平成29年2月28日**までです。

上記対象者で、クーポン券が届いていない方はご連絡ください。

【お問い合わせ】 ふれあいセンター ☎ 2000